

平成28年度全国及び岡山県学力・学習状況調査 結果と今後の取組について

津山市立高田小学校

教育目標(めざす児童生徒像)

「人間性豊かで実践力のある児童の育成」

めざす児童像
 ただしく(素直で誠実な子)
 かしこく(自ら考え行動する子)
 たくましく(心と体を鍛える子)

今年度の指導の重点

- 人間力あふれる児童を育成する。
 - ①自ら学びに向かう子
 - ②気持ちのよいあいさつをする子
 - ③最後までやり抜く子
- 「自然と伝承文化の豊かなふるさと高田」に根ざした教育を展開する。

調査結果について(調査結果において明らかになったこと)

【学力状況調査の結果】

- 全国
- 算数A算数Bは、全国平均より正答率が高い。
 - ・割合を表す図の当てはまる数値の組み合わせを選ぶことや、円の描き方など図形に課題がある。
 - 国語A国語Bは、県平均より正答率が低い。
 - ・既習の漢字やローマ字の正しい表記に課題。
 - 目的や意図に応じた聞き方、まとめ方に課題がある。
 - ・国語Aでは、助言した内容として正しいものを選択することに課題。
 - ・国語Bでは、報告文やインタビューで質問項目の適切な内容を選択する ことに課題。

県

- 四教科ともに正答率は県平均を上回った。
- 全般に出題された条件に合わせて適切な表現をすることに課題がある。
- 社会は、活用力が付いているが、「書院造」等の用語、政治の内容の定着に課題がある。
- 数学は、整数の加法乗法の正答率が低いが、割合、図形に定着がみられる。
- 理科は、観察・実験の技能に定着がみられる。

【学習状況調査の結果】

- 「自分の考えや意見を発表することが得意」な児童の割合が県平均より高い。
- 「自分で計画を立てて勉強をしている」児童の割合が高いが「一日1時間以上家庭学習をする」割合は低い。
- 文章で解答する問題に対して無回答率が低く、算数の新しい問題への挑戦力も高い。
- 「新聞やテレビのニュース」等への関心が低い。
- 「読書は好き」と答えた児童の割合が低く、家庭での読書時間が少ない傾向にある。
- 平日にゲームをしたり、テレビやビデオを見たりする児童の割合が高い。

成果と課題

- 落ち着いた学習環境づくり(学習規律)に力を入れ、話すことや聞くことの力が育ち、ねばり強く取り組む児童が増えている。
- 補充学習の成果が現れ、算数の基礎的基本的な問題の正答率が上がっている。
- 漢字やローマ字を正しく書くことに課題がある。
- 問題をていねいに読み解くことや目的に応じた表現をすることに課題が見られる。
- 各教科の4・5年生での既習内容の定着が課題である。
- 家庭学習の内容の充実と学習時間を増やしていくことに課題がある。
- 読書をする児童としない児童の二極化がみられるので、さらに具体的な取組をしていく必要がある。

課題に対応した改善方法

- 改善につながった取組は継続する。・振り返り学習(どんでんチャレンジ等)・家庭学習・音読 視写 日記・単元別到達度テスト等(ローマ字を使った作文なども取り入れる。)
- 各教科の学習の仕方を身につけさせ、自分で学習を進めることができるようにする。
 - ・物語・説明文の授業で基本的な仕組を意識させた授業を行い、文章の要旨をとらえ読みとる手段を身につけさせる。
 - ・自分の考えを説明したり、条件に合わせて書いたりする活動を多く取り入れる。(作文タイム)
 - ・自学自習をすすめる。
 - ・単元や授業の見直しをもたせる。(めあて、まとめ、ふり返し)
- 目的や意図に応じた話し合い、活動体験を学級活動・行事等にも取り入れ、助言し合うことができるようにする。
- 補充学習を行い、個別指導に取り組む。(問題データベースの活用、放課後学習)
- 単元に関連した既習内容をプリントの裏などを利用して復習できるようにする。問題データベースも活用する。
- 知的な環境整備を行う。(地図、ことわざ、ニュース、詩、絵 等)
- 読書週間等に取り組む、読む本の幅を広げたり意欲を持たせたりし、長文にも慣れさせる。

取組の検証方法及び検証時期(2学期末及び年度末)

- 全学級、国語を中心に授業研究を行い、学習意欲とともに読解力や表現力を高める授業づくりを推進する。…2学期末まで
- 授業評価シートの活用(職員の月毎の視点を絞った指導の振り返りシート)や研修で職員の意識の共有化…学期毎
- 「えがおいっぱい高田っ子カード」の取り組みで家庭での過ごし方や家庭学習の時間、内容を改善する。…中学の定期テスト期間に合わせる。
- 小中連携の取り組みの継続(チャイム・そうじ・あいさつことばづかい・学習規律)…学期毎
- たしかめテスト等の結果を受けて、改善方法の見直しを図る。…12月末

各校の具体的な達成目標(数値目標等)

- 授業改善に向けて共通理解したことができている。①音読 ②めあて、まとめ、ふり返し ③子どもの発言をつなぐ(2学期末)
- 家庭学習の全員提出をめざす。(2学期末100%をめざす。)
- 読書週間等の取り組みで、読書量と読書時間を1学期より20%増。
- 高田っ子カード全員提出。家庭学習の時間を1学期より10%増。
- どんでんチャレンジ・補充学習に取り組み、計算力・漢字力をあげる。たしかめテストで課題把握→2・3月で定着
- 単元別到達度テストを全学年実施し基礎・活用の力をあげる。(2月末までに80%)